

# 平成31年度「保幼小連携推進プロジェクト」の概要



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を踏まえ、学びの連続性を重視した保幼小連携の充実を図るため、「保幼小連携プロジェクト」では、「保幼小連携推進会議」と「学びの基盤づくりを推進する取組」を実施し、管内の保幼小連携を推進します。



## ★保幼小連携推進会議（年2回）

- ・就学前施設と小学校の教育課程編成の担当者を参加対象とし、「保幼小連携推進会議」を年間2回実施します。
- ・各園・校の保幼小連携がより一層進むよう、専門家による講義や事例研究、演習等で深めます。

| 趣 旨   | 目 的  |
|---|--|
| 就学前施設と小学校の円滑な接続を目指し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた保幼小連携の充実を図り、カリキュラムや指導方法の工夫・改善につなげる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに就学前施設と小学校の教職員が互いの教育内容や指導方法を理解することにより、学びの連続性を踏まえた保幼小連携を推進する。</li> <li>○非認知能力を含む幼児期に身に付けた力が発揮できる連携活動やカリキュラムへと改善し、教育及び保育の充実を図る。</li> </ul> |

### 実施計画（予定）

#### 第1回

日時：6月14日（金）午後  
 テーマ：学びの連続性を踏まえた保幼小連携  
 内容：大学教授による講義  
 （岐阜聖徳学園大学 西川正晃教授）  
 グループ演習  
 場所：宮津市福祉・教育総合プラザ

#### 第2回

日時：10月17日（木）午後  
 テーマ：互惠性のある保幼小連携  
 内容：大学教授による講義  
 （岐阜聖徳学園大学 西川正晃教授）  
 グループ演習  
 場所：宮津市福祉・教育総合プラザ



## ★学びの基盤づくりを推進する取組

就学前の幼児がいる家庭に対して、幼児期に大切にしたいこと、学びの芽をはぐくむ環境づくりや家庭でのかかわり方の参考となる資料提供等を行い、学びの基盤づくりを進めます。



### 学びの芽を育てましょう

小学校に入る前義務教育がスタートします。学習がスムーズに進み上げるためには学びの基盤となる体験や感覚を豊かにすることが大変重要です。それらについて紹介しますので、ご家庭でのお子様への関わりにおいて参考にしていただければ幸いです。

|   |   |
|---|---|
| <p><b>ご家庭での関わり</b></p> <p><b>時間を意識した生活をしましょう</b><br/>             「決まった時刻に集まる」「テレビなどは、番組や時間を決めて見る」など規則正しい生活を送る習慣付けを大事にされています。加えて、日常生活の中で、「長い針が6、0のところまでいったら、お風呂に入ろう」「6時（長い針が6、長い針が12）になったら読む本だよ」「あとら分まで3時になるから、おやつしよう」など、時刻（アナログ時計）を取り入れるようにすると、自然と時間の感覚が豊かになります。</p> <p><b>ことばのコミュニケーションを大事にしましょう</b><br/>             話を聞いてもらうことで、相手の話を聞くという気持ちが生み出されます。子どもの気持ちに共感しながら、一日の出来事などの会話をすることや、絵本読み直しなど、上のと話をしだしたとことばに聴ける機会</p> | <p><b>小学校では…</b></p> <p>時間の感覚が豊かになると、学習の場でも、先を飛躍す力や耐性といった力につながります。</p> <p>授業は、教師と児童とのことばでのやりとりが中心とされています。</p> |
|---|---|